



事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		17,140	37,280	14,960				
（財源内訳）	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	市町振興共同事業助成金	11,426	24,852	9,972				
	一般財源	5,714	12,428	4,988				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	研修受講者数	研修機関への職員派遣事業であるため、受講者数を指標とした。	人	目標	2人	2人	2人
					実績	2人	2人	2人
				目標達成率（％）		100%	100%	100%
	②				目標			
					実績			
目標達成率（％）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1)実施することによるメリット
	<p>（内容、程度等）</p> <p>（公財）長崎県建設技術研究センター（NERC）主催による研修を受講することにより長崎県の動向をふまえた上で、品質管理の技術、対応を学び、技術職員として必要な専門知識を習得するとともに、実務遂行能力の向上を図ることで、効率的な対応が期待できる。</p>

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
有効性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	<p>品質管理の技術、対応を学び、工事の品質管理の観点にたった点検・管理方法、及びコンクリート構造物に関する施工管理方法について学んだ。その結果技術職員として必要な専門知識を習得するとともに、実務遂行能力の向上が図られた。</p>	
有効性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる	<p>品質管理の方法及び実務におけるポイントを学び、技術職員として必要な専門知識を習得するとともに、実務遂行能力の向上が図</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

<input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	られ、今後の事業実施（工事施工）の品質管理の確認をしていく上で参考・反映できる。
（２）公共性の評価 本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民への利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	（具体的内容） 品質管理の技術、対応方法を学び、技術職員として必要な専門知識を習得するとともに、実務遂行能力の向上が図られ、今後の事業実施（工事施工）の品質管理の確認をしていく上で将来的には、住民への利益還元ができると思われる。

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実現性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	品質管理の技術、対応方法を学び、工事の品質管理の観点にたった点検・管理方法に触れることができ、技術職員として必要な専門知識を習得するとともに、実務遂行能力の向上が図られたため、今後も（公財）長崎県建設技術研究センター（NERC）主催による研修を受講することにより技術職員として資質向上を図りたい。				